

2024年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding & 沖縄フィールドワーク

目的 世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める。日本の学生、留学生、青年が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論ができる力を育む

対象 学生一般(大学生、大学院生、留学生など)

内容 沖縄フィールドワークへの参加を前提に事前学習を実施。沖縄フィールドワークは沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学ぶ体験型学習で5月ゴールデンウィーク中の3泊4日を予定

■日中韓大学生リーダーシップ育成キャンプ

目的 異なる文化や価値観を受容することができ、国際的視野が広がるといった参加者の成長、グローバル人材としての向上を図る

対象 現役大学生および大学院生(若手)

内容 日 時: 8月下旬

場 所: 東京または京都

参加者: 日本から若干名、韓国・中国からの参加者数は各大学で判断

内 容: 韓国ハンバット大学と中国延辺大学の日本語学部の大学生と相互交流を行う。ワークショップや発表会、講演、ホームステイ、ゲストスピーカーとして授業参加等を通じて、現地の文化的背景や歴史、習慣等への理解を深める。2024年度から3年計画で実施し、次年度からは中国か韓国で持ち回りを想定

■オンライン・多文化共生のためのボランティア講座ー地域における日本語学習支援について学びましょう

目的 多文化共生社会は、異なる国や地域にルーツをもつ人たち、異なる言語を使う人たち、異なる背景をもち、異なる問題を抱える人たちが、互いに尊重し合い、対等な関係で生きられる社会ととらえ、地域における日本語教育が多文化共生社会の創生に資するためにボランティアは何ができるのかを模索し共に学ぶ日本語教育のあり方を考え、

試みる

対象 社会人、学生

内容 オンデマンドとオンタイムオンライン授業。最終課題でレポート提出し、講師からのフィードバック

期 間：年度前半

オンデマンド配信(1時間程度)7回、事前配信

オンライン授業(1.5時間)7回

対面クラス(2時間)3回

講 師：福村真紀子(親子サークル「多文化ひろばあいあい」代表、東京外国語大学非常勤講師、博士(日本語教育))

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

目的 日本語の学習を必要とする人に日本語学習の支援をするとともに、国際交流を深める

対象 ボランティア講師：奉仕園の講座修了者など

学習者：日本語学習を必要としている10歳以上の方どなたでも

内容 日本語を必要としている学習者にボランティア講師が日本語を教える。講師は奉仕園の講座修了生および推薦などで公募予定。課外活動などとは見合わせるが、学習者発表会などの機会を模索する

開講日：対面にて水曜日、金曜日1クラスずつ。オンラインクラスは検討中

■野宿者支援給食活動(共催)

目的 野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通して、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる

対象 大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容 約150人分の食事、保存食、支援物資を準備、渋谷にて配食活動。偶数月にはボランティアの弁護士や司法書士による相談会を行う

日時：月2回(原則第2、第4日曜日)午後から夕

共催：日本キリスト教団早稲田教会

協力：NPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校ほか

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■Let' s 朗読

目的 朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、普段の生活に張りを与える。詩や物語の世界で感性を磨く

対象 社会人、学生

内容 ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。各期の終わりにはミニ発表会などをする。クラス形式はオンラインクラスをメインで行い、対面クラスを各期3回ほど設ける。

期日:前期・後期の2期制各期8回

講師:飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

■パイプオルガン・アカデミー

目的 キリスト教会での奏楽者のスキルアップ、キリスト教音楽への理解の促進、パイプオルガンのレパートリーを増やすなど

対象 礼拝奏楽者、オルガン愛好者など社会人、学生

内容 プロのオルガニストによる個人レッスンと演奏発表会

期 間:レッスン日を講師と設定しながら(発表会は隔年に1度)

講 師:水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協 力:早稲田教会

発表会:2025年2月11日予定

■オンライン『聖書講座』(共催)

目的 聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる

対象 学生、社会人

内容 山口里子著「虹は私たちの間に」を講読。オンライン開催を予定

期間:未定

講師:山口里子(聖書学者)予定

共催:日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■STUDY HALL!

目的 講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み。

対象 社会人、学生

内容 臨機応変に設定できる講座として、共催や持ち込みプログラムを取り込んで講座の幅を広げたい。また、寮に滞在の留学生・研究員を講演者にしたり、セミナーハウスのチャリティー古本市との連携も視野に入れて企画したい。状況を見ながら、オンライン開催にも柔軟に対応する。

- ・幸せなら手をたたこう誕生秘話 出版記念シンポジウム(4月6日開催)
- ・キリスト教とフェミニズム・LGBTQをテーマに講演
- ・三浦アークさん映画上映会など

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

目的 イエス・キリストの奉仕の精神に基づき、広く国際的視野に立って、学生・留学生および社会人に対し、学びと交わりを通しての人間形成の場を提供。充実した学生生活の確立に向けた支援

対象 舎生数: 4年生2名、3年生3名に加え新1年生・2年生最大5名募集

内容 朝の会: 学期期間中の月曜日から金曜日実施。聖書講読ほか学生発表

舎生会: 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う年間

活 動: 新入生を含めたオリエンテーションを実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。入舎式・卒舎式をはじめ、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこないながら自己研鑽をする。教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをしていく。

古賀博牧師、中澤重光牧師に聖書講読のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただく

■キリスト教学生寮懇談会

目的 キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び合い、寮運営の充実をはかる

対象 都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在10団体)

内容 懇談会をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

■ゲストハウス

目的 関東近郊の大学に在籍する外国人留学生が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 関東近郊の大学に在籍する学部、大学院の外国人留学生

内容 1号館2階201～207号室計7部屋を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める。また奉仕園プログラムへの積極的な参加、協力を促す

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学との第1国際学舎(3号館)賃貸借契約及び国際学舎管理運営に関する契約更新交渉を進める。併せて入居者負担について9月より新たな枠組みを設定することを予定している。これらを含め、今後の国際学舎のあり方について検討を始めたい

目的 早稲田大学の外国人留学生、研究員が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員

内容 5号館2階～4階、3号館2階～12階、1号館3階301～304号室、4階404～415号室、計152室を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める

退寮:2月上旬及び8月上旬

入寮:3月下旬及び9月下旬入寮オリエンテーションはオンライン(居住者向けのポータルサイト)で実施

避難訓練実施(3月、9月の入寮時)

クリスマスカード送付(12月)

■健康相談室の運営

目的 寮居住の留学生、友愛舎生、研究員が心身とも健やかに生活できるように、看護師、医師、臨床心理士がサポートする。既往歴のある居住者には必要に応じて面接をし、現在の病状を把握し通常の生活ができるようにサポートする

対象 早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員、友愛学舎生、ゲストハウス生

内容 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため対面相談は当面休止し、予約制でのオンライン相談を行う

相談可能日時:火・木・土・日 13時～17時(カウンセラーと調整して相談日を決定)

なお、健康相談室については2024年度中に見直しをはかる予定である

■ウエルカムパーティー&奉仕園クリスマス会

目的 留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 ウエルカムパーティーは4月及び9月の入寮時に実施。9月はJapanese Nightとして友愛学舎がホストを務める。クリスマス会は12月14日に開催、寮生によるアトラクションや静かなひとときを中心に交流パーティーを実施

■留学生スキー研修@万座温泉

目的 硫黄濃度日本一の万座温泉を訪れ、スキー・スノーボードを体験し、温泉につかりながら疲れを癒す。留学生と友愛学舎・信愛学舎などの日本人学生と合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする

対象 留学生、友愛学舎及び近隣学舎の日本人学生、20名程度

内容 スキー・スノーボード体験、温泉体験、交流会など

期間 2025年1月11～12日

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的 留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進する。日本の大学生と留学生が交流できる場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。

対象 国際学舎に居住する留学生および早稲田大学留学生、大学生一般、日本語ボランティアの会学習者

内容 RAと友愛舎生の企画により、お花見や花火など季節行事を実施。

2025年1月餅つき(早稲田教会と合同)

■Cooking Exchange Program

目的 各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象 早稲田奉仕園寮留学生

内容 年に2回実施予定(6月と11月)。

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

目的 収益事業として財団運営を財政的に支える。施設の利用提供による早稲田教会及び東京平和教会の教会活動の支援

対象 一般、法人

内容 月極駐車場:計 42 区画

建物:早稲田教会及び東京平和教会への礼拝堂、教会事務所等、シャプラニール、一龍通商、バレエスタジオ・アトリエリュミエールに事務所・店舗貸出

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。2024年度寄り会館4階部分が新たに管理物件として追加された

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■セミナーハウス施設の貸与

目的 奉仕園の認知度を高める

対象 一般、法人、学生、非営利組織等

内容 会議室・ホールの貸出:コンサート、語学教室、句会、朗読、文芸、詩、文化芸術活動
撮影(スチール・動画)の受入:ファッション誌、ファッションカタログ、広告、ドラマ、

CM、ミュージックビデオ、再現VTR

ギャラリー:絵画、写真、その他アートの展示貸出

■セミナーハウスプログラム

目的 スコットホールの認知度を高める

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 ①スコットホール公開日(年2回、5月・10月)

②スコットホールを撮る…写真家・北田英治氏による建築写真講座

③早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示

- ④新宿区と連携し、スコットホールの文化財(登録有形文化財、重要文化財)登録へ向けて資料整理や条件を整えていく

3. 事業共通業務

■業務管理システム

法人内オンラインシステムの改善をはかる

■資料保存

文書資料のデータ化、画像映像のアーカイブ保存を進める

■広告・宣伝

セミナーハウス事業でのネット検索サイトの活用を強化する。フェイスブック、X(旧ツイッター)、ブログ等多彩なメディアの導入を進め、早稲田奉仕園の情報発信力を高める

4. 法人総務

■広報

財団の事業報告として、7月に年次報告書を発行することを定例化する。奉仕園通信はおもに奉仕園OBOG等関係者向けとして年1回発行する。

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

評議員・理事・監事懇談会：11月開催を予定

このほか必要に応じ、臨時理事会、臨時評議員会を開催する

■監査

監事監査(5月、11月)及び公認会計士監査(5月、3月)、公認会計士実査(4月)

■早稲田正午礼拝

近隣教会、団体有志による礼拝、原則として毎月第1水曜日に実施する

■キリスト教施設長会

施設長会議を開催予定（時期未定）

■内閣府との折衝

公益事業会計の剰余金の扱いについて特例を認めてもらえるよう、内閣府と折衝をする

5. 資金調達及び設備投資

■資金調達

借り入れの予定なし

■おもな設備投資

おもな施設更新、備品購入等は次のものを予定している

3号館第1国際学舎学生寮エレベーター修繕 200万円

5号館給水ポンプ更新工事 290万円

スコットホール廊下・階段部床補修 563万円